

ほのぼの

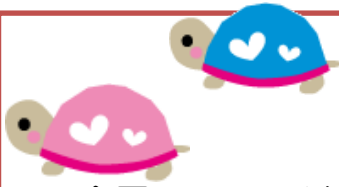


センター専属キャラクター
こころちゃんとゆたかくん

ご挨拶

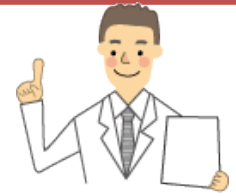
アルツハイマー病は高齢化が進む国々において共通の社会問題になっています。1994年に国際アルツハイマー病協会は世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に世界中でアルツハイマー病の啓蒙を実施しています。函館では同日に道南認知症疾患医療連携協議会と函館認知症の人を支える会との共催でホテル法華クラブで「アルツハイマーデー講演会」を開催しました。アルツハイマー病の治療と介護の二つのテーマで啓蒙活動が行われました。大勢の方が参加しました。アルツハイマー病など認知症の患者さんが安寧な余生を送るには、患者さんを取り巻くご家族、ご近所の方々、支援組織の方々が認知症についてよく知ることが大切です。

(センター長 井上芳郎)



まるまる

「認知症の〇〇」



今回のテーマは「認知症の種類」です。

《認知症》と一言で言っても、種類や症状は多種多様に渡ります。今回はその中の『**レビー小体型認知症**』についてお話ししたいと思います。

●レビー小体型認知症●

レビー小体型認知症は、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症と並び、三大認知症と呼ばれています。

アルツハイマー型認知症の患者さんでは初期には物忘れが目立つことが多いですが、レビー小体型認知症の患者さんでは物忘ればかりではなく、初期より幻覚、特に幻視があらわれることがあります。

幻視とは実際には存在しないものがはっきりと見える症状で「壁に虫が這っている」「子供が遊んでいる」といった具体的なことがよく聞かれます。

また気分の変動が大きく、穏やかな状態から無気力状態、興奮、錯乱と言った症状を一日の中でも繰り返したりします。

もう一つの大きな特徴なパーキンソン病に似た歩行の障害や体の固さを伴う点です。このためレビー小体型認知症の患者さんではアルツハイマー型認知症の患者さんと比べ転倒の危険が高く、また寝たきりになりやすいと言えます。

レビー小体型認知症の治療は抗精神薬による精神症状のコントロールと運動症状に対する抗パーキンソン病薬などになります。また、アルツハイマー型認知症の治療薬が効果的な場合もあり、試みられることもあります。

アルツハイマーと似た認知症状	<ul style="list-style-type: none"> • 見当識障害 • 気分や態度の変化 • 注意力散漫、記憶の混乱
パーキンソン病に似た症状	<ul style="list-style-type: none"> • 筋肉の収縮 • バランスの悪さ、歩行障害 • 手足の震え • 嚥下困難、弱弱しい声
その他の典型的な症状	<ul style="list-style-type: none"> • 幻覚（幻視、幻聴等） • 無反応 • 睡眠障害、せん妄 • 日内変動が激しい

次回は **前頭側頭型認知症** についてお話しします



アルツハイマーデー講演会

今回は道南認知症疾患医療連携協議会と函館認知症の人を支える会とアルツハイマーデー講演会を開催しました。

認知症のメカニズムや医療・介護・家族からの目線で座談会という形で実施しました。

当院の精神保健福祉士 本間千恵も参加し認知症の取り組みを紹介させていただきました。



アルツハイマーデー講演会

平成25年
9月21日(土)

ホテル法華クラブ函館
13:30~16:00 (受付/12:45~)

参加無料 市民向けの講演会ですので、お気軽にご参加ください。

第1部 講演会 13:30~14:50
〈テーマ〉
アルツハイマー型認知症の現在の治療と近未来の治療
講師 医療法人 富田病院 認知症総合医療センター センター長 谷内 弘道 先生

第2部 座談会 15:00~16:00
〈テーマ〉
認知症の介護を明るくするために
司会 函館大学 准教授 大橋 美幸 先生

ゲスト
医療法人 亀田病院 分院 亀田北病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 本間 千恵 氏
函館市地域包括支援センター 連絡協議会 水野 利幸 氏
函館市地域包括支援センター 西 橋 管理責任者 松倉 養子 氏
函館認知症の人を支える会

●お問い合わせ：道南認知症疾患医療連携協議会事務局
(社会医療法人 函館達辺病院 認知症医療センター) TEL.0138-59-6676 FAX.0138-59-6651)

家族会



8月29日(木)に、家族会が開催されました。今回のテーマは「制度の利用について」でした。便利なサービス・今まで知らなかったサービスなどを知る事が出来ました！

たくさんの質問・ご意見・普段のお話などが出され、とても有意義な時間となりました。家族会について、参加ご希望の方、内容について知りたい方は連携室まで是非ご連絡くださいm(_)_m

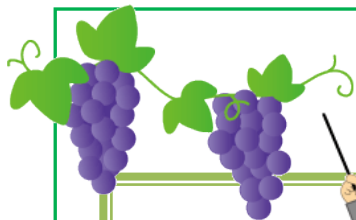


地域向け介護講座



9月10日に行われた介護講座では薬のトラブルについてお話しさせて頂きました。また、認知症の発症に気付いた時期や自分が認知症になった時どうするかをみなさんと話し合ってもらいました。自分が認知症になったら…難しい質問ですが、自分もいずれ認知症になるかも知れない、という気持ちを忘れずに認知症の方々と接することが大切です
ね(*^_^*)





お知らせ



出前講座のご案内

認知症疾患医療センターでは、認知症の疾患・治療・予防・介護など、認知症に関する様々な出前講座を開催しております。認知症疾患医療センターの医師・看護師・精神保健福祉士・臨床心理士が無料で講座をいたしますので、ご要望のある方はご一報いただければと思います。



地域向け介護講座・家族会のご案内



地域向け介護講座(奇数月)・家族会(偶数月)ともに、14時より亀田北病院の講堂で開催しております。興味のある方はご一報ください。

家族会 平成 25 年 10 月 31 日(木) 「認知症の症状について」

家族会・介護講座 平成 25 年 11 月 19 日(火) 「施設見学」

家族会 平成 25 年 2 月 27 日(木) 「在宅での応急手当」

介護講座 開催日:平成 25 年 3 月 18 日(火) 「今年度のまとめ」

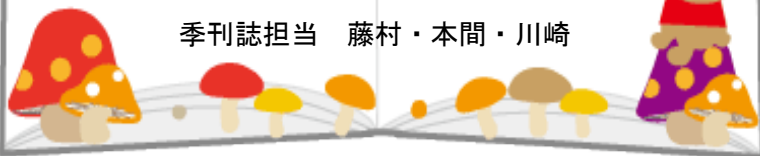
※参加費は無料です。内容は変更になる可能性があります。ご了承ください。



編集後記

日本列島でも今の時期に真夏日が続いている所や北海道のように秋が足早に来ている所などあり寒暖差が大きくなっています。このような時期に風邪をひきやすいので職員も注意しながら頑張っています。

季刊誌担当 藤村・本間・川崎



【発行元】

医療法人 亀田病院 分院 亀田北病院
認知症疾患医療センター

〒041-0802

函館市石川町 191 番地 4

センター専用フリーダイヤル

0120-010-701

FAX専用ダイヤル

0138-46-5505

ホームページ

URL

<http://www.hakodate-kameda-hp.com>